

第 23 回学会発表奨励賞選考結果

日本コミュニケーション障害学会では、学術講演会で発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題を選考し、学会発表奨励賞を授与しております。第 46 回学術講演会で発表された演題の中から、厳正なる審査の結果以下の 2 件が第 23 回学会発表奨励賞に選考されました（敬称略，所属は発表時のもの）。受賞者には、来年の第 47 回学術講演会において学会より 5 万円の研究奨励金が贈呈されます。

- 成田あゆみ（国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部）、下嶋哲也（国立障害者リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科）、北義子（静岡大学大学院総合科学技術研究科情報学専攻）
「母子相互作用場面における乳児の発声行動の分析」
- 土屋知子（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター）、松尾加代（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター・慶應義塾大学先端研究センター）、春名由一郎（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター）
「高次脳機能障害者の職場の人的環境を対象とするコミュニケーションパートナートレーニング」